

「グローバル研究開発とイノベーション研修」 参加学生募集要項

- 1 旅行期間
平成30年3月5日(月)～平成30年3月10日(土)6日間(予定)
※ 教員の同行あり。
- 2 募集人員
10名程度
- 3 応募資格
以下の条件を全て満たすこと。
 - ① 本学の正規生
 - ② 日本国籍を有する者又は日本への永住を許可されている者
 - ③ 研修参加に必要な英語力を有する者
 - ④ 主指導教員が推薦する者
 - ⑤ 学生教育研究災害傷害保険(以下「学研災」という。)及び学研災付帯賠償責任保険(以下「付帯賠償」という。)に加入している者
 - ⑥ 全日程を通して参加が可能な者(一部日程のみの参加は認めない)
 - ⑦ 海外旅行保険に保険料自己負担で加入できる者(補償内容が十分な保険を推奨する)
- 4 支援内容：
 - ① 往復航空券(エコノミークラス)の支給
本学が手配しe-ticket(変更不可)を各参加者に交付する。
 - ② 本学が指定する宿泊施設の提供
宿泊先は本学が手配し研修開始前に各参加者に通知する。
 - ③ 予防接種料^{注1)}、旅券(パスポート)交付手数料^{注2)}及び査証申請手数料^{注3)}

上記以外は参加者負担とする。

注1) 予防接種を受けることは任意とするが、経費支援の対象となるのは下記で推奨されているものに限る(*TWINRIX*のように、経費支援対象外の疾病を予防する効果が含まれる混合ワクチンには支援対象外)。また、接種にかかる交通費は、本学が認める場合を除き支援対象外とする。

在インド日本大使館

http://www.in.emb-japan.go.jp/Japanese/Medical_New/vaccines2.html

是非接種	A型肝炎、腸チフス
------	-----------

注2) 研修参加のため新規にパスポートを申請する場合、有効期限が5年のものに限り経費支援の対象とする。なお、パスポートの申請に必要な戸籍謄本等書類の取寄せに時間がかかることがあるため、予め必要書類や発給までの必要日数等を確認しておくこと。

外務省 パスポートの申請から受領まで(初めてパスポートを申請するとき等の例)

http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/pass_2.html

注3) 査証申請については本学が指定する旅行会社を通じて一括して行う。査証申請にあたり必要となる書類はおって通知するが、申請にはパスポートの原本を旅行会社に提出する必要がある、また手続きに2週間程度を要するため、査証申請中はパスポートが使用不可となる。

パスポート預かり期間：1月下旬から2週間程度(予定)

(この期間は海外出張等は不可となるため留意すること。)

5 応募方法

主指導教員の承認を得て下記の書類を揃えて国際交流課へ提出すること。主指導教員が出張等で不在となり、参加申請書への承認印押印が難しい場合は、主指導教員の承認が確認できるメール等の文書をあわせて提出すること。

【提出物】

- ① 参加申請書
 - ② 学研災及び付帯賠償加入時の領収書の写し
 - ③ パスポート写し（顔写真が掲載されているページ）
 - ④ （承認印なしの場合）主指導教員の承認が確認できるメール等の文書
- ※ 身体に障害又は病気等があり、インド滞在にあたり特別な配慮等を必要とする場合は、参加申請書の備考欄にその旨を記入すること。
- ※ 過去に「グローバル研究開発とイノベーション研修」に参加した者は応募不可とする。

6 応募締切

平成30年1月12日（金）15時

7 選考方法

英語力・志望理由・専門分野・インド理科大学院大学との関係等により総合判断する。

- ※ 選考にあたっては、TOEIC600点以上の英語力を有する者及び平成29年度夏期集中講義「科学技術世界展開(L224)」又は「先端科学技術世界展開論 (L226)」の受講者を優先する。

8 申請結果の通知

平成30年1月中旬までに本人宛に通知する。

9 報告書の提出

研修に参加した者は、所定の様式により、研修終了後1か月以内に報告書を提出すること。

10 日程表（予定）

年月日	スケジュール	宿泊先
2018.3.5（月）	小松空港発 → 羽田空港着 *社会人コース学生が参加する場合は羽田発・成田着となる。 羽田空港発 → バンガロール着	バンガロール泊
2018.3.6（火）	バンガロール企業見学	バンガロール泊
2018.3.7（水）	JAIST-IISc セミナー参加	バンガロール泊
2018.3.8（木）	バンガロール企業見学	バンガロール泊
2018.3.9（金）	文化研修、夜バンガロール発	機中泊
2018.3.10（土）	成田空港着 小松空港着	

※ 日程についてはフライトの混雑状況等によって若干の変更が生じる場合がある。

※ 本学が指定する宿泊施設以外での宿泊は認めない。

11 その他

- ・ 本研修は、平成29年度夏期集中講義「科学技術世界展開 (L224)」及び「先端科学技術世界展開論 (L226)」における国際交流実践対象セミナーとして開催する（「科学技術世界展開」、「先端科学技術世界展開論」履修登録者以外の申込みも可能。）
- ・ インド渡航にかかる諸手続（査証申請等）の詳細については、参加者の決定後に対象者へ通知する。

(本件に関する問い合わせ先)

国際交流課国際学術係 (Tel : 0761-51-1947/1699 (ex4947) E-mail : i-gakuju)